

## 事例21:照明のLED化による電力使用量の削減

### 島田市:大鐘測量設計 株式会社

◎業種:サービス業(測量・建設コンサルタント・補償コンサルタント) 従業員:34名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

自然環境の保全に努め、環境に配慮した活動の展開や社会貢献してきたことで社内の省エネにも取組むようになった。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 電気使用量の削減

- エアコンの設定温度を夏28℃冬20℃に設定
- 天井ファンによる冷暖房効率の向上
- 営業所3階入口にカーテンを設置し空調負荷を軽減
- 不要な照明の消灯
- スイッチOFFによる待機電力の削減



##### 2 LED照明に更新

- 事務室の蛍光灯(39W)128本をLED照明(23W)に更新した。



##### 3 省エネ意識の向上

- 社員の家族29世帯が、チーム名「エコひいき」として、ふじのくにエコチャレンジDAYS※に参加し、各自6～9月の1週間の取組状況をマークシートに記入してエコライフチェックを実施

##### ※ふじのくにエコチャレンジDAYS

家庭において10項目のエコライフの取組をチェックできるマークシートを用いて、1週間集中的に温暖化防止に取り組み、省エネ型ライフスタイルへのきっかけとする事業。静岡県、市町、静岡県地球温暖化防止活動推進センターが連携して実施。



ウォームビズ・クールビズを推奨

##### 4 水道使用量の削減

- 節水活動の推進



##### 5 エコドライブの徹底

- unnecessary idling prohibition
- unnecessary cargo lowering
- emergency acceleration prohibition
- active engine brake use
- air conditioning restraint
- planned route setting
- early shift up
- tire pressure check



##### 6 燃費管理の徹底

- 全社員を対象として年度当初に実施しているエコアクション21全体研修の中でエコドライブの徹底も周知している。
- 各車両には、給油量や走行距離を記載する、「ガソリン給油記録紙」を配置している。
- この記録紙のデータをもとにして、各車両の月毎の燃費をグラフ化し、社内に掲示することで、ドライバーに対してフィードバックを行っている。



#### ◆費用と効果

- 照明のLED化等の節電対策により、2012年度の電気使用量を2011年度に比べ1%削減する目標に対し、15%の削減に成功した。



#### ◆今後の課題、目標

- 老朽化したガス空調機を省エネタイプに更新すること
- 社員と会社のコミュニケーションの充実、社員一人一人が意識や知識の一層の向上に努め、低炭素社会の構築、持続可能な社会への貢献を目指したい。

## 裾野市:高齢者福祉施設「紙ふうせん」

◎業種:サービス業(老人福祉・介護) 職員数:42名

### ◆取組の動機、対策の着眼点

要介護度の進行や市町の要望に応じて様々なサービスを提供する施設である。建物南前面には、テラスや庭があり、ビオトープや入居者で作る菜園も設けられている。このような環境配慮型の施設として、環境負荷の少ない「太陽熱利用システム」を導入した。

### ◆実施した省エネ、節電の取組

#### 1 太陽熱利用システムの概要

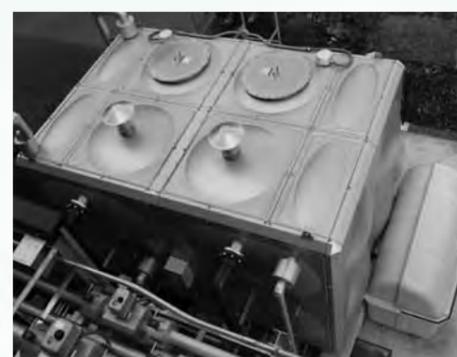
- 太陽集熱器は、建物の東側屋上に計34枚が設置されている。
- 蓄熱槽、貯湯槽は一体になっており建物の東側屋外に設置されている。
- 蓄熱槽と貯湯槽は同一槽で中央に仕切りのある一体型を採用することで、設置面積の削減、配管の簡素化を図っている。

<概要>

太陽集熱器	34枚(64.95㎡)・傾斜角:35°、方位角:-2°
蓄熱槽・貯湯槽	各4000ℓ
補助熱源	140kW(LPG)2台



<集熱器>



<蓄熱槽・貯湯槽>

#### 2 運転管理

- 集熱板と蓄熱槽の温度差が3度以上で集熱ポンプを駆動し、0.5度以下でポンプを停止する制御を行っている。
- 老人施設という特殊性から使用時の安全性を考えて蓄熱槽が60度以上になると集熱を停止する。
- お湯は蓄熱槽から貯湯槽へ送られ、貯湯槽は2台の補助ボイラーで常に60度になるように加熱される。施設内の給湯配管を循環し、浴槽、ミストシャワー等に供給される。
- 給湯負荷は6~8㎡/日を想定し、毎日蓄熱槽のお湯が入れ替わる程度の負荷で使用している。



<浴室>



<建物と機械設備>

### ◆費用と効果

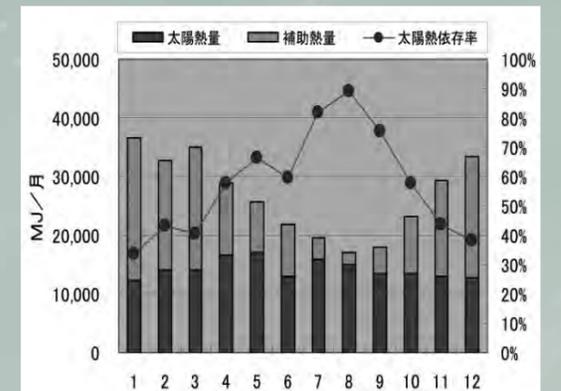
#### 太陽熱利用システムの設備費

- 設備費の配分は、太陽熱利用部分が58%、それ以外の給湯部分が42%を占める。
- 太陽熱利用部分の内訳は、集熱器が29%、蓄熱槽が20%、配管工事費(補機)が43%。

本システムは開放式で、蓄熱槽と貯湯槽が一体のため蓄熱槽の価格が比較的安く、また熱交換器を必要としないため安価に仕上がっている。

#### 太陽熱システムの性能

- シミュレーションによる各月の太陽熱利用量を右図に示す。負荷の多い冬期では太陽熱依存率は40%弱になるが負荷の小さい夏期には約90%になると予測している。



【太陽熱利用熱量と太陽熱依存率】

### ◆今後の課題、目標

- 快適性を保ちながら省エネを推進し、地域に溶け込む施設にしたい。

## 菊川市: 特定非営利活動法人 菊川市体育協会

◎業種: サービス業 (施設管理: 体育館の管理・運営) 従業員数: 3名

### ◆取組の動機、対策の着眼点

本協会では、菊川市民総合体育館、堀之内体育館、小笠体育館の管理・運営を実施している。特に菊川市民総合体育館の事業費に占める電気料金の割合が非常に大きいため、節電を中心とした省エネ活動に取り組んだ。

なお、電気料金のお大半は、体育館における水銀灯によるものである。

### ◆実施した省エネ、節電の取組

#### 1 照明の消灯

- 事務所の照明は、人がいる場所だけの点灯を徹底した。
- 体育館等の照明についても、施設の利用予定表(黒板に記載)に従って、使用場所のみの点灯を徹底している。
- トイレも使用時のみ点灯し、使用後は必ず消灯することとした。



<事務所>



<体育館入口>



<照明用電源の集中管理>

#### 2 空調の省エネ

- 空調の使用頻度は多くないが、冷房の使用時は28度設定で運転している。また、暖房は使用していない。



<冷房時の温度設定>

#### ◆費用と効果

- 体育館における水銀灯の電気使用量を考えれば、水銀灯以外の電気使用量は僅かではあるが、「省エネ」を推進することで職員の意識向上につながっている。

#### ◆今後の課題、目標

- 水銀灯のLED化を菊川市に提案していく。

## 事例24:100W以下の暖房器具を社員に無償提供

### 島田市:桜井資源 株式会社 本社工場

●サービス業(資源廃棄物の中間処理) 従業員:60名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

3Rを心がけ、自社内単純埋立処分ゼロを目指していたことが、省資源・省エネルギーに配慮するきっかけとなった。

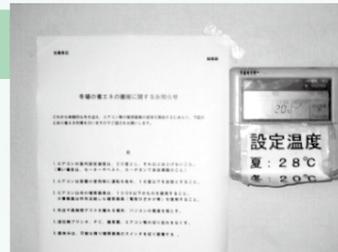
社員の省エネ意識を向上させるため、100Wを超える暖房器具の使用を廃止し、その代わりに100W以下の暖房器具を無償で社員に提供した。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 不要時には電気設備の電源をこまめに切る

##### 2 事務所内の温度管理の徹底

- 夏:室温29℃以上のときのみ28℃で冷房
- 冬:室温15℃以下のときのみ20℃で暖房



##### 3 デマンド監視装置の設置

- 社員が普段から目にするよう、事務所の入口前にデマンド監視装置を設置して省エネ意識の向上を図っている。



##### 4 100Wを超える足元の暖房器具の廃止

- 100Wを超える暖房器具の使用を廃止し、その代わりに、100W以下の「電気あんか」、「電気ひざかけ(毛布)」、「電気一人用ミニこたつ」の3点の中から好きなものを社員に無償で提供することとした。これにより、電力消費量を削減するとともに、社員の省エネ意識の向上を図っている。

##### 5 事務所内の電力消費の徹底

- 事務所内の照明を消費電力の少ないLED照明に更新



##### 6 工場内の電力管理の徹底

- 電力使用量の大きい「100馬力古紙ベラー機」、「150馬力プレス機」、「75馬力アルミ缶プレス機」の使用時間をずらすことで、事務所のデマンド値の管理をしている。一度に全ての機械を稼働させるとデマンド値が大きくなり過ぎるため、作業量に応じて停止する機械を決めている。



##### 7 エコドライブの徹底

- 運転時以外でのエアコンの使用を控え、運転中も「弱」に設定
- 収集運搬業務において効率的な配車計画を立てる

#### ◆費用と効果

- デマンド監視装置を社員の見える場所に設置した。また、100W以下の暖房器具を無償提供したことで社員の省エネ意識が向上し、2015年の節電目標である「2011年比5%削減」を超える効果が生み出されている。



#### ◆今後の課題、目標

- 事業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮し、循環型社会の構築を目指していきたい。

## 事例25:環境教育により社員の省エネ意識を向上

### 藤枝市:株式会社 志太紙業

◎業種:サービス業(古紙回収、廃棄物の収集運搬・中間処分) 従業員:13名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

従業員13名に対して、年2回の環境教育を実施してきたことで、全従業員が自主的に省エネに取り組むようになった。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 事務所内の省エネ

- 不必要な照明は点灯しない  
事務所内の照明スイッチを一括制御から分割制御に変更し、必要箇所のみを使用できるようにした。



- 省エネ環境対応型自動販売機※を事務所入口前に設置した。

※省エネ環境対応型自動販売機  
夏場には午前中に商品を冷やし、電力需要が高まる午後は冷却機能を停止し、消費電力をカットする自動販売機



- 飛散防止フィルム  
事務所の窓に、断熱効果のある飛散防止フィルムを貼付したことで冷暖房の効率が向上した。



##### 2 デマンド監視装置の設置

- デマンド設定値は、平成12年の135kWから段階的に引き下げ、平成25年には125kWに下げている。



##### 3 工場内の省エネ

- これまでベアラー機のモーター3基を常時稼働させていたが、現場作業員が仕事量に応じて2基ずつ稼働することとした。
- 資材容器の配置を変えることで、フォークリフトの移動距離を短縮し業務の効率化を図った。
- チューブ式の太陽光照明を導入して、電灯の利用を抑制した。



##### 4 省エネ意識の向上

- 年2回の環境教育の場では、エコアクション2.1の環境活動の内容について、全職員と意見交換している。

##### 5 エコドライブの実施

- 急発進・急加速の禁止、計画的巡回訪問、営業車両のハイブリッド車への買い替えを行った。
- 年2回の環境教育の場では、環境管理責任者が全従業員に対しエコドライブの実践を指導している。



屋外コンセントの設置



ハイブリッド車への買い替え

#### ◆費用と効果

- 社員教育を継続的に実施したことで、従業員の省エネ意識がさらに高まった。これにより、各社員が積極的に省エネに取り組むようになり、電力使用量を減少することに成功した。

#### ◆今後の課題、目標

- 構内動線の効率化を行う。
- 社員一人ひとりが、環境に対しての提案と実行ができるように努めて、環境にやさしい社会の実現の一助になるように邁進する。

## 事例26:国内クレジットを活用したボイラーの燃料転換

### 焼津市:株式会社 ツチャコーポレーション (笑福の湯)

◎業種:サービス業(総合生活関連) 従業員:220名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

ISO14001を取得したことをきっかけに、ルールに基づいた省エネ活動をスタートさせた。同社の活動方針の一つであるEconomy(エコノミー)を実践するため、施設の省エネ化に積極的に取り組んでいる。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 国内クレジットを活用したボイラーの燃料転換

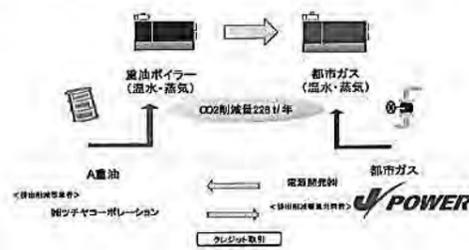
●同社が所有・運営する温泉施設「笑福の湯」のボイラー燃料を重油から都市ガスに転換することで、二酸化炭素排出量を削減した。

本事業は、平成21年6月に国内クレジット制度に基づく二酸化炭素排出量削減事業として承認されたため、削減した二酸化炭素をクレジットとして売却することができる。

平成24年11月末までに削減した二酸化炭素891 tは、J-パワーへの売却を完了している。

1. 地点	静岡県焼津市御新町 241-2
2. 施設名	『笑福の湯』
3. 所有者/オペレーター	株式会社ツチャコーポレーション:静岡県焼津市駅前 1-2-10
4. 施設概要	・温泉施設を3年前から開店。 ・当初、A重油焚きボイラー2台設置し、給湯に使用。 ・今回、燃料を都市ガスに切替え工事を実施し、CO2排出量を削減する。
5. ODMタイプ	ボイラー燃料をA重油から都市ガス(13A)へ燃料転換する
6. 予想排出権	年間228 t、合計約1,000 t-CO2 (2008年11月から2013年3月迄の約4年半分)
7. プロジェクト概要	・重油焚きボイラー(30kW x 2台)の燃料バーナー交換を行い、都市ガスへの燃料転換を行う。 ・設備投資額は600万円。経済産業省から平成20年度エネルギー多消費設備天然ガス化推進補助事業として1/3補助の適用。

2. 『笑福の湯』燃料転換・CO2排出量削減事業 スキーム図



#### <J-クレジット制度>

- 国は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット(J-VER)制度を発展的に統合し、平成25年度からJ-クレジット制度を運営しています。
- Jクレジット制度は、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、温室効果ガスの排出量削減や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

##### 2 コージェネレーションシステムの導入

- 停電時にも必要最低限の設備を稼働することができるように、25 kW/hの発電能力を持つコージェネレーションシステムを導入した。通常時にも稼働しており、館内に熱、電気を供給している。



##### 3 エネルギーナビゲーションシステムの導入

- 本システムを導入することで、30分単位での電力消費状況を管理することが可能となった。電気に加えて、水、天然ガスについても本システムで集中監視することができ、異常発生時には、携帯電話に連絡されることになる。



##### 4 館内照明のLED化

- 館内照明の約55%をLED照明に切り替えている。

##### 5 その他の取組

- 濾過機、ジェットポンプのインバーター化、人感センサーによる感知運転の導入。
- 屋根への遮熱塗装。
- 営業開始時だけ2台のボイラーを運転するが、その他は常時1台運転。営業終了時間前にボイラーの電源を落とし、貯湯で対応する。

#### ◆費用と効果

- コージェネレーションシステム(常時稼働)導入と館内照明のLED化により、消費電力の大幅な削減はもちろん、停電時には自家発電のみで、館内照明を全てまかなうことができる。
- 濾過機、ジェットポンプのインバーター化、人感センサーによる感知運転の導入により、15%~20%の削減効果がある。
- 屋根の遮熱塗装では、「館内やエレベーターが暑い」というお客様のクレームが無くなったことから、大きな効果があったと考える。

#### ◆今後の課題、目標

- 3年以内に投資回収できる対策があれば積極的に取り入れる。
- 水・電気・天然ガスのコストの「見える化」を更に徹底し、一層のコストダウンとコスト意識向上を図りたい。

## 事例27: 宿泊客の協力を得て省エネを推進

### 富士市: ビジネスホテル ふるいや旅館

◎業種: サービス業(旅館) 従業員: 10名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

富士市で環境に関わる仕事に携わっていたため、環境問題には、真剣に向き合ってきた。そのためCO2削減、省エネは、責務と考え昭和の時代から高い意識で取り組んでいる。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 温水ボイラー

- 真空式温水ボイラー(ガス焚き)は、従来の1/3とコンパクトかつ軽量で、低NOX、低騒音、ボイラー効率90%以上と省エネ性能にも優れていることから本機種を選定した。
- フロントで管理できるようリモコンを設置して運転管理しやすくした。



##### 2 LED照明

- 経費削減になり将来的にもメリットが大きいと判断したため、館内照明に人感センサーを導入するとともに、全館LED化を実施した。

<全館LED>  
ロビー、食堂、客室、廊下



#### 3 お客様の協力

お客様へ節電のご協力をお願い

当館の省エネ、節電対策について紹介させていただきます。

2. 005年12月に電気使用量は、最大値53kwに対し平成25年7月現在35kwと大幅に減少しております。

1. 当館での取組み

当館では、

① 昭和58年4月からソーラーシステムを導入しております。

② 平成21年8月からESシステムを導入してピーク電源の削減に役立っております。

③ 自動販売機は省エネ対策を講じた機器に交換

④ 空調機器は省エネ機器に更新済み

⑤ 照明機器は、消費電力と長寿命で電球消費が少ないLED照明に順次更新

⑥ ボイラーは、老朽に伴い高効率の新しい真空式ボイラーに更新

平成24年度は、温室効果ガスの削減量、削減率等総合的に評価承認を頂き富士市の「中小企業省エネ対策補助金」制度を導入しました。

内容は、①館内の照明機器を蛍光灯、電球等からLED照明機器に交換し余剰な器具は、撤去し省エネ対策を講じました。

②ボイラーは、高効率の高い「真空式パコインヒーター」に更新した。

既存のソーラーシステム(昭和58年度より導入)との併用で地球温暖化防止に寄与してきております。

この結果、こうした制度と従前からの省エネ対策の取り組みに対し富士市環境アドバイザーによる省エネ賞一部賞においてモデル的な事業所であると高い評価を頂くことができました。

こうした状況をお知り頂く皆さんに少しでもご理解とご容認いただき節電にご協力下さいますようお願いいたします。

節電への基本アクションのお願い

1. お客様の照明は、「リモコン」で明かりの調整をして頂き、退室の際は、消灯して下さい。

2. 空調機器(エアコン)の取扱いは、

①・・・「冷房中の室温は、原則28度とすることの徹底」要請・・・

・夏場(7月～9月)の室温は、28℃に設定するよう心がけて下さい。

☆☆設定温度は、25度以下に設定してありますので適宜調整して下さい。☆☆

退室の際は、一旦消灯してください。

②・・・「暖房中の室温は、原則22度とすることの徹底」要請・・・

・冬場(12月～2月)の室温は、20℃に設定するよう心がけて下さい。

☆☆設定温度は、24度以下に設定してありますので適宜調整して下さい。☆☆

退室の際は、一旦消灯してください。

3. コンセントを利用する場合は、充電等ができましたら電源をお切り下さい。

4. 電気、水道をご使用の場合は、当館での省エネ、節電対策へのご理解を頂きご協力下さいますようお願いいたします。

館主より

- 当ホテルの大きな特徴としては、宿泊客からも省エネについての理解を得ていることである。
- 「お客様へ節電のご協力をお願い」を各室に配置し、宿が取り組んでいる省エネを説明するとともに、客室におけるリモコンでの灯りの調整、空調機の温度設定、退室時の消灯などへの協力を依頼している。
- 夏場の電力使用のピーク時にも館内放送で呼びかけるとお客様が協力してくれる。

#### ◆費用と効果

- 真空式温水ボイラー及びLED照明の導入経費は総額300万円である。富士市の補助金75万円を活用し、実質負担金額は225万円となる。
- 最大デマンド52kw(2008年)⇒35kw(2013年)32.7%削減
- 電気使用量10万1935kwh(2009年9月～2010年8月)→8万1935kwh(2012年9月～2013年8月)

#### ◆今後の課題、目標

- 省エネの宿としてさらに節電に取り組んでいく。

## 事例28: ボイラー更新とLED化による電気使用量の抑制

### 富士市: 株式会社 富士グリーンホテル高橋

●業種: サービス業(ホテル・旅館) 従業員: 18名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

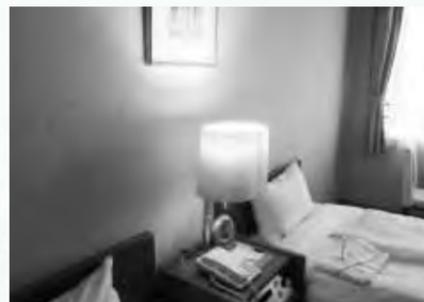
同社では富士、富士宮に2箇所のホテルを所有し運営している。

電気料金が約13%値上げされたことから、経費削減を目指して、こまめな節電や照明のLED化などの省エネ対策を社員全員で実施した。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 照明のLED化

- 同社が運営する2箇所のホテルについて、全ての白熱球と蛍光型の電球を、消費電力の少ないLEDに更新した。



##### 2 省エネ型ボイラーに更新

- これまで富士店のボイラーには、客室で一斉にお湯を使用した場合、出口温度がめるくなるという問題があったため、富士市の補助金を活用して新たなボイラーを導入した。更新後のボイラーは、ボイラー効率が高く従来よりも省エネ型である。また、出口温度を自動で測定するとともに、熱源ポンプをインバーター制御して温度を一定に保つことができる。



##### 3 その他の対策

- 客室のエアコンフィルターを定期的に清掃。
- チェックアウト後の客室や使用後の宴会場における冷暖房の停止、消灯を従業員に指導。
- 夏期、冬期の日照時間に合わせて、外灯の点灯時間を変更しタイマーを設定。
- エアコンの電源を一斉に入れず、時間をおいて1台ずつ入れることで、ピーク電力を削減。

#### ◆費用と効果

- 省エネ型のボイラーを導入し、全館LED型の電球に更新したことで、2箇所あるホテルの電力料金は、ともに値上げ分に相当する約13%の削減を達成した。

#### ◆今後の課題、目標

- 富士宮店のボイラー更新を検討。
- 社員全体が今以上に、省エネの重要性を理解し実践することで、地球温暖化防止に貢献したい。

## 事例29:パソコンの一斉更新によるオフィスの省エネ化

### 浜松市:株式会社 フジヤマ

◎業種:サービス業(建設総合コンサルタント) 従業員:255名

#### ◆取組の動機、対策の着眼点

平成22年にエコアクション21を取得したことをきっかけに、各部署でバラバラに行ってきた省エネ対策を、全社的な取組とした。

#### ◆実施した省エネ、節電の取組

##### 1 屋上緑化の実施

- 平成21年7月、本社ビルに「屋上緑化モデル」を設置した。対外的にも、ホームページや本社前の看板にて屋上緑化の有用性を広報している。



##### 2 機密文書の溶解処理

- 機密文書は、自社でシュレッダー処理をしていたが、これを外部に溶解処理を委託することとした。それにより、人件費を含めた経費が削減されるとともに、紙のリサイクル(再生紙化)率も向上した。



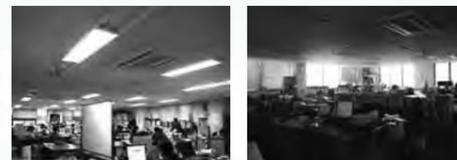
##### 3 パソコンの一斉更新

- 平成23年～25年にかけて、パソコン300台をデスクトップ型からノート型へ更新した。これにより、約50%の節電効果が見込まれる。



##### 4 オフィスの省エネ化

- 環境管理担当者が室内の照度を計測し不要な照明を間引き。
- 業務開始前、昼休み、残業時には不要な照明を消灯。
- 複合機をエコモードに設定するとともに、電力ピーク時での使用を禁止。



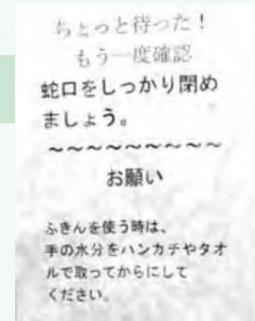
#### 5 エコドライブの実施

- 総務による社用車の燃費の把握
- 買い替え時に普通車から軽自動車へ転換
- 国が後援する「エコドライブ活動コンクール」に全社で参加
- 自転車や公共交通機関を利用するエコ通勤の推進
- 浜松市作成の「エコドライブ部門取組内容一覧表」を用いて、環境管理責任者が全社員にエコドライブを啓発

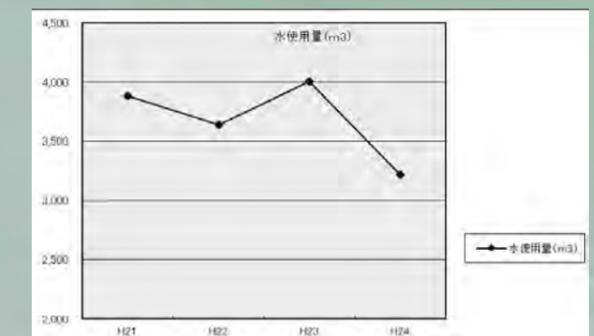
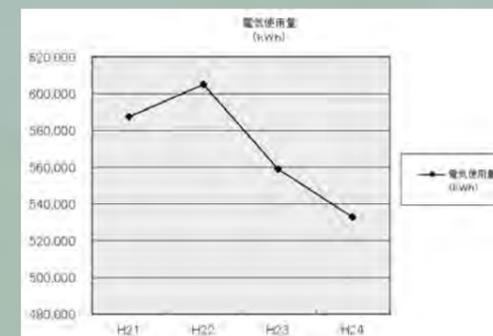


#### 6 省エネ意識の向上

- 「クールビズ・ウォームビズ」、「エレベーターから階段利用」への推進。
- 節水型トイレへの変更(平成24年)、トイレ・給湯室に節水推進シール設置



#### ◆費用と効果



- エコアクション21による節電対策と、平成23年～25年のノート型パソコンへの更新により、平成24年の電気使用量は、平成22年と比べて10%以上の削減に成功。

- 平成24年の水使用量は、平成23年と比べて約20%の削減に成功。平成23年は臨時職員を多く雇用したため増加に転じたが、平成24年は節水型トイレの導入等により大きく削減した。

☆平成24年に「エコ通勤優良事業所」の認証・登録  
 ☆平成23年に「浜松市新エネ・省エネ対策トップランナー」として、平成24年にエコドライブ部門省エネ取組80点以上のAAAランクに認定された。

#### ◆今後の課題、目標

- 蛍光灯のLED化や太陽光発電の設置を検討する。
- 環境保全活動(しずおか未来の森サポーター活動、一社一村しずおか運動など)を通して、地域住民と共に環境への取組の向上に努めていく。

## 伊豆の国市:有限会社 マエダ美化

●業種:サービス業(廃棄物処理) 従業員数:30名

### ◆取組の動機、対策の着眼点

エコドライブを中心に省エネの取組を進めてきたが、東日本大震災の影響による電力需給の逼迫を受け、事業所の省エネ化をさらに強化した。

「FMいずのくに」に、身近なエコについて考える番組を提供し、市民への広報にも努めている。

### ◆実施した省エネ、節電の取組

#### ①エコドライブ

- 安全運転のためにエコドライブを実施している。



#### ②照明の省エネ

- 昼光を取り入れ、照明はなるべく使用しない。



#### ③FMラジオによる広報

- 地元のラジオ局「FMいずのくに」に「ちょっとエ〜コとませんか」というラジオ番組を持ち、エコや省エネを市民に啓発している。



#### <番組の内容>

市内の車屋さんがエコカーについてわかりやすく話す  
まちの電気屋さんが消費電力を少なくするポイントを解説  
廃食用油からリサイクル石けんを作る会の活動をレポート など

#### ◆費用と効果

- エコドライブを実践することで、燃費が向上するとともに、安全運転にもつながら、報告の必要となる重大な事故は起きていない。
- 平成23年の電力使用量は16,000kWhだったが、平成24年は11,000kWhに減少した。

#### ◆今後の課題、目標

- 休憩室の建て替えを検討しているが、省エネを意識したエネルギー効率の良い建物としたい。